

服作り初心者向けの要尺計算アプリ開発とソーイングサポートサービス

服のデザインを見て、要尺がわかるアプリを開発した。手芸店にポスターを貼ってもらい、生地の買い控えを解消する。ウェブで学べるカリキュラムを開講し、未就学児童の母で服作り初心者ターゲットとする。両サービスは、会員登録制（無料）にして自社商品の販促をかけ、売上向上を図った。

ハンドメイド・カンパニー株式会社

受付番号：2813111135

代表者名 代表取締役 早川辰悟
所在地 〒116-0012 東京都荒川区東尾久1-4-4
連絡先 03-6807-7854

資本金 100万円
従業員 2人
URL <https://handmadecompany.jp>

● 取組みの背景

ミシンが売れる一番のタイミングは、家庭において子どもが入園・入学する時である。国内の家庭内におけるミシン普及率は約67%と高く、家庭用ミシンの国内生産数と輸入台数を合計すると年間100万台近くある。このように需要は高いものの、ミシンの利用率は決して高くはない。

利用率が低い原因の1つに、地域の手芸店が減ったことが挙げられる。以前は、地域に密着した手芸店で、店員から作り方や道具の使い方、手作りの楽しさを教えてもらうことができた。しかし、大型手芸店のチェーン展開により小さな手芸店は淘汰された。またライフスタイルの変化に伴って、バッグやワンピースを自分で作ってみようとする人も減少している。仮に自分で作ってみたいと思っても、既製服のように上手に作るにはハードルが高いと感じるようになった。

しかし近年、作った人の顔が見えるハンドメイドのものが喜ばれる潮流はアパレル業界にも広まっており、ストーリー性のある一点ものが欲しい、作りたいというニーズは高まりを見せている。また同時に、インターネットを利用したハンドメイド作品の販売サイトも盛り上がりを見せている。



線と文字のほか切れ目も入れてくれるMUTOUの印刷機

● 取組みの内容

このようにミシンを持っている人と、ハンドメイドに興味を持っている人がいる中で、両者を結びつける仕組みを構築する取組みの一環として、当社では、作る人が「難しい」と感じることを解決するサービスを提供している。



手で簡単に型紙を切り取ることができる

まず、当社が販売する型紙は、従来の型紙と違ってパーツごとに切れ目が入っており、購入後すぐに生地の上に置いて使うことができる。また、デザインも流行のものを選ぶことができる。これは、従来の型紙は大量に印刷することで単価を下げるために、流行に左右されないオーソドックスなデザインが多かったことと一線を画している。当社では型紙の受注を受けてから印刷して発送するために、単価は高めではあるが、ユーザーにとって選択肢が広がった。

次にハンドメイドするとき課題となるのは、生地の適切な長さを知ることと、ミシンの使い方である。こうした溝を埋めるために、今回当社では、ソーイングの要点をWebサイト上で文字、図解、動画によって学べる環境を整えた。

また、ミシンの写真から必要な生地の長さを算出することができるアプリを開発し、現在は試用段階ではあるが、今後本格的な利用に向けて準備を進めていく予定である。

企業紹介

平成24年設立の当社は、日暮里繊維街の生地屋や材料メーカーのネットショップの運営をはじめとする服飾関連産業向けネットショップのプロデュースを行う。また、ソーイング（縫い物）を楽しむ人を増やすことを目的に、平成26年に新たな事業として、洋服等の型紙の企画・製造・販売事業を開始した。現在は、オリジナル商品の展開も始め、全国の手芸店に販売している。当社のサービスを通じて、日本の生地産地や繊維業の活性化を目標としている。



代表取締役 早川辰悟氏

取組みの成果

現在、当社では、大人向けから子ども向け、また洋装から和装に至るまで350点に及ぶ型紙を販売しており、当社のホームページやインターネットショップから購入することができる。

当社ホームページ「ソーイングサポートサービス」ページでは、ハンドメイドのコツを詰め込んだ動画とテキストで、下準備から裁縫道具、縫い方のコツ、ミシンの使い方、手縫いのコツなどを初心者にもわかりやすく紹介している。



「ソーイングサポートサービス」ページ
https://pattern.handmadecompany.jp/user_data/lesson.php

補助事業終了後の取組み

荒川区と日暮里繊維組合は、平成31年（2019年）完成予定として、繊維街を盛り上げる施設を建設している。反



豊富なラインアップと仕組みのうまさから、大手チェーン店や服飾の学校との連携も広がる

物をイメージした斬新なデザインで、全5フロアでは地元活性化を目指した様々な取組みが行われる予定となっている。当社は、この施設を活用し、地域とも連携しながらリアルにソーイングを体験できる場を設けていく予定である。

ハンドメイドの楽しさや喜びは、やはり実際に経験してもらうことから始まる。その上で、当社の型紙や開発してきた動画やアプリが活用されるようになり、相乗効果として服を作るニーズが増え、生地や糸、ボタン等の売上げも伸びることだろう。このように連鎖反応を生み出すことで、地元繊維街や服飾関連産業が復活することを目指している。



大手通販サイトでも販売されている型紙セット